

平成 29 年度第 1 回公益社団法人滋賀県理学療法士会理事会議事録（要約）

- ・開催日時：平成 29 年 4 月 13 日（木） 18 時 10 分～20 時 15 分
- ・開催場所：滋賀医科大学医学部附属病院リハビリテーション科控室
- ・出席理事：本白水博、平岩康之、弘部重信、松岡昌己、吉田環、柴田健治、川崎浩子、宇於崎孝、酒井英志、石井隆
- ・出席監事：前川 昭次
- ・現在理事数：11 名 監事数：2 名 ・議長：本白水博

○滋賀県立リハビリテーションセンター職員より
「地域リハビリテーション人材育成研修」
「地域リハビリテーション人材育成協議会」
『「地域共生社会」を実現する地域リハビリテーションプロジェクト』について、説明と協力依頼があり、質疑応答があった。

○報告事項

各部・各委員会報告

総務部・事務局（平岩副会長）

- (1) 2017 年 4 月現在会員 949 名、賛助会員 6 社 退会者 9 名（理学療法廃業等）。
退会、異動届なしで発送物が差し戻される連絡不能会員約 30 名。

- (2) 議案書作成納

厚生部（石井理事）

- (1) 会員公募事業 4 月 9 日（日）大文字山ハイキング実施 11 名参加
- (2) 新人歓迎会、写真コンテスト募集のニュース掲載について

研修部（宇於崎理事）

- (1) 新組織について相談協議中

講習会事業部（宇於崎理事）

- (1) 現職者講習会 8 月 6 日実施予定

生涯学習部（川崎理事）

- (1) 協会より新生涯教育システムの説明会（5 月 27 日）への参加依頼あり。川崎理事参加。

学術誌部（弘部副会長）

- (1) 2016 年度「湖都」発行

教育部（弘部副会長）

滋賀県学術集會に 19 件の演題応募あり。予定演題

数より多いため、調整が必要となる。

診療報酬部（柴田理事）

- (1) 5 月 27 日（土）総会前に「診療報酬・介護報酬に関する情報交換会」開催予定。

アドバイザー：日本理学療法士協会 森本榮
常務理事。

公益事業部（酒井理事）

- (1) 「理学療法の日」は理学療法週間の間の日曜日の設定となる。都道府県コーディネーターの設置。滋賀県学術集會とタイアップしてイベントを開催するか？あるいは別の日に設定するか検討が必要である。

国体支援委員会

- (1) 5 月 28 日「スポーツ外傷への対応」研修開催予定。

各会議報告・その他

倫理担当者会議

- (1) 2017 年度近畿理学療法学会での「倫理に関するイベント」について
日本理学療法士協会と相談しながら進めていくことを確認。

平成 28 年度下半期職務執行状況について

本白水会長、平岩、松岡、弘部各副会長より書面別紙により報告があった

○審議事項

第1号議案 **提出**：柴田理事

議案内容：糖尿病予防キャンペーンの後援について

審議内容・結果：「糖尿病予防キャンペーン西日本地区 in 滋賀&第3回滋賀県糖尿病ウォークラリー」後援の依頼が、大津赤十字病院岡本元純滋賀県糖尿病協会会長よりあった。後援依頼を受諾することが承認された。

第2号議案 **提出**：平岩副会長

議案内容：平成29年度公益社団法人滋賀県理学療法士会定時総会議事録承認について

審議内容・結果：平成28年度「事業報告」「決算報告」の原案及び、「監査報告書」が報告された。以上、報告書の内容を平成29年度定時総会議案書としてまとめ平成29年度定時総会に提議することが承認された。

第3号議案 **提出**：本白水会長

議案内容：近畿学術大会のあり方について

審議内容・結果：各理事より、参加者数・地域格差、金銭負担や予算規模、他のブロックと全国レベルでの調整、ブロック体制に対する協会のとらえ方等、様々な課題・意見が提出され、集約して近畿ブロック会議へ提案することが承認された。

第4号議案 **提出**：本白水会長

議案内容：地域リハビリテーションに対する助成基金について

審議内容・結果：2017年度は三士会で384万円の助成が交付されることになった。他士会員も参加できる関連研修事業がこの助成の対象となるが、他士会員への周知が不十分ではないかとの指摘があった。今後、三士会へ、研修事業の案内周知を徹底していくことの提案が了承された。